

2020年度フランス語学科専任教員の業績

尾玉 剛士

【著書】(共著)

- (1) 『どうする日本の福祉政策』埋橋孝文編、ミネルヴァ書房、2020年10月(分担執筆:第2章「医療——財政を維持しつつ質とアクセスを改善する」pp.41-57)

【論文】(単著)

- (1) 「日本の医療政策の方向性を考える——医療の質向上のための財源確保へ」『生活協同組合研究』通巻533号、生協総合研究所、2020年6月、pp.5-12

【その他】

- (1) 「拙著『医療保険改革の日仏比較:医療費抑制か、財源拡大か』に対する書評へのリプライ」『フランス文化研究』第52号、獨協大学外国語学部フランス語学科、2021年3月、pp.13-16
- (2) 「ピケティたちの社会保障財源論——解説『税制革命のために:21世紀の所得税』——」『週刊社会保障』No.3113、2021年3月、pp.42-47

【社会貢献】

- (1) オンライン模擬授業:埼玉県立和光国際高等学校「フランスの地方都市におけるまちづくり」2020年12月17日

木田 剛

【論文】(単著)

- (1) 国際学会論文:KIDA Tsuyoshi (2020) "A new French-based register? An Analysis of commercial naming in public space in Japan", Asmah Haji Omar, Susan Needham, Nathan Hill (eds), The Proceedings of the 2020 GLOCAL Conference, in Asia, The 2020 GLOCAL Conference on Asian Linguistic Anthropology (ISSN: 2707-8647), London, SOAS University of London, pp. 74-81. Available: <https://glocal.soas.ac.uk/>

cala2020-proceedings/ (2020年12月)「査読付」

【口頭発表】

- (1) 口頭発表：KANEKO Makoto, KIDA Tsuyoshi, SHIMURA Kanako (2020) “Les impératifs positifs et négatifs dans la publicité en japonais et en français”, Symposium “Le genre bref dans l’espace public”, Université Aoyama Gakuin, 19 December 2020 (2020年12月19日)

【競争的資金】

- (1) 日本学術振興会科研費基盤研究 (B) (一般)「模擬国連を中心としたグローバル教育における国際交渉力の調査研究」(課題番号 18H00684, 研究期間 2018年8月～2022年3月) 研究代表者

【社会貢献】

- (1) 日本フランス語学会 編集委員会委員
(2) 地球システム・倫理学科 評議員
(3) 国際会議「The rise of Asia」学術委員会委員 Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne/Université Le Havre Normandie (フランス共和国)

熊木 淳

【論文】(単著)

- (1) Atsushi KUMAKI, « L’Erreur judiciaire est à cacher : Hideo Yokoyama et le polar japonais », *Considérant : Revue du droit imaginé*, n°3, Classique Garnier, 2021, pp. 153-169

筒井 伸保

【論文】(単著)

- (1) “«Homo sum ... » de Térence dans l’histoire de l’humanisme de l’Antiquité à la Renaissance” 『フランス語フランス文化研究』第25号、獨協大学大学院外国語学研究科、2021年3月、pp. 1-27

根木 昭英

【その他】

- (1) 解説記事・論説：「セリーヌ 『夜の果ての旅』」、「サルトル 『文学と

は何か』、「文学は『役に立つ』のか」、『シリーズ世界の文学をひらく フランス文学の楽しみかた』ミネルヴァ書房、2021年3月、pp. 94-95、pp. 100-101、pp. 135-138「招待あり」

藤田 朋久

【論文】(単著)

- (1) 「王妃テウトベルガの神判について」『フランス語フランス文化研究』第25号、獨協大学大学院外国語学研究科、2021年3月、pp. 29-48

CORBEL Amélie

【論文】(単著)

- (1) 博士論文：CORBEL Amélie, « Régulation de la mixité conjugale au Japon : Les CEPA, intermédiaires entre deux loyautés », Thèse en science politique soutenue le 11 janvier 2021, Institut d'études politiques de Paris, sous la direction de Pierre Lascoumes et Anne Revillard, 669 pages. Disponible en ligne : <http://www.theses.fr/2021IEPP0001>

【口頭発表】

- (1) CORBEL Amélie, « Journée méthodologique des jeunes chercheur.e.s GIS Asie : trajectoires et carrières académiques » 2021年3月2日 オンラインセミナー

VEYSSIÈRE Georges

【著書】(単著)

- (1) 『クラウン フランス語単語中級：仏検準2級・3級対応』三省堂、2021年3月

【その他】

- (1) ワークショップ報告：「学習者の『なぜ?』に答える、『なぜ?』を引き出す——フランス語教員のための歴史文法」(高名康文、有田豊、片山幹生と共著)、『Cahier』27号、2021年3月、pp. 1-4
- (2) 雑誌記事：「Carré d'as : DELF A1 で4技能を磨こう」(田中善英と共著)、『ふらんす』2020年5月号～2021年3月号(月1回連載)

- (3) 雑誌記事：「[特集] 仏政府公認フランス語資格 DELF A2 に挑戦！」
 (田中善英と共著)、『ふらんす』2021年4月号(2021年3月)
- (4) ウェブコラム：『三省堂 WORD WISE-WEB 「歴史で謎解き！フランス語文法」(有田豊、片山幹生と共著) https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/col_author/rekishibunpo
- 「第13回 なぜ、de bons restaurants の de は、des じゃないの？」
 2020年4月17日
- 「第14回 アクサン記号は、いつから使われるようになったの？」
 2020年5月15日
- 「第15回 どうして直接目的語が前にあるとき、過去分詞は性数一致しなくてはならないの？」2020年6月19日
- 「第16回 活用の語幹で nous と vous が他と較べて変化するのはなぜ？」2020年7月17日
- 「第17回 なぜフランス語の数詞は、こんなにも複雑なの？②」2020年8月21日
- 「第18回 なぜ英語とフランス語は似ているの？」2020年9月18日
- 「第19回 Je n'ai pas de frères. の de は何に由来するの？」2020年10月16日
- 「第20回 なぜ単純未来形の活用語尾が avoir の活用に似ているの？」
 2020年12月18日
- 「第21回 語末の子音字を発音したり、しなかったりするのなぜ？」
 2021年1月15日
- 「第22回 どうして性数一致は男性形が優位なの？」2021年2月19日
- 「第23回 フランス語の否定表現の由来①」2021年3月19日

【口頭発表】

- (1) 「学習者の『なぜ?』に答える、『なぜ?』を引き出す——フランス語教員のための歴史文法」、日本フランス語フランス文学会・2020年度秋季大会(福岡大学・オンライン)ワークショップ(コーディネーター・パネリスト：高名康文／パネリスト：有田豊、片山幹生、ジョルジュ・ヴェスイエール)2020年10月25日

フランス語学科構成比 (2021年4月1日時点)

職階構成比	
教授	7 (14%)
准教授	5 (10%)
専任講師	4 (8%)
特任	1 (2%)
非常勤	32 (65%)
計	49

年代構成比 (専任)	
60代	3 (18%)
50代	3 (18%)
40代	6 (35%)
30代	5 (29%)
20代	0 (0%)
計	17

教員男女比 (専任)	
男性教員	12 (71%)
女性教員	5 (29%)
計	17

専任比	
専任	17 (35%)
非常勤	32 (65%)
計	49

外国人教員比	
日本人	34 (69%)
外国人	15 (31%)
計	49

学生数	
1年	116
2年	103
3年	94
4年	144
その他	0
計	457

ST比 (非常勤も含む)	9.3
ST比 (専任のみ)	27

執筆者紹介 (掲載順)

廣田 愛理：獨協大学 准教授

阿部明日香：獨協大学 准教授

尾玉 剛士：獨協大学 准教授

紀要委員 藤田朋久, ジョルジュ・ヴェスイエール

『フランス文化研究』投稿規程

- 1 『フランス文化研究』(以下「本誌」)に投稿できる者は、フランス語学科(以下「本学科」)教員、退職した本学科教員、および本学科長が認めた者とする。
- 2 本誌に投稿を希望する者は、発行年の前年6月末までに、その旨を本学科共同研究室まで書面で申し出なければならない。
- 3 書式等については別に定める。

フランス文化研究 第53号

2022年3月15日 印刷

2022年3月20日 発行

発行所 獨協大学外国語学部フランス語学科
埼玉県草加市学園町1-1 (〒340-0042)

印刷所 株式会社 外為印刷